

Campus®

NOTEBOOK

Campus notebooks contain the best ruled foolscap suitable for writing.

A 普通横野

観測所日誌(6)

1990年1月 ~ 1991年12月
1990.01.01 ~ 1991.12.05

~~1989~~1990年1月1日～1月7日 月 中

あけましておめでとうございませう。
20世紀の最後の11年ガスタートしました。

いわきのメンバーにとって今年も良い年でありますように。

今度の正月は [] 氏と男2人で6泊7日してしま
ました。1月4日以後は他のメンバーも帰ってしま
本当に「2人の世界」でした。(お、気持ち悪い)

例年だと正月寒波とかで結構雪雲が落ちて
きたりして天気が悪いのが「いわきの空」ですが
今年はおんがいと天気が良くて結局5勝1敗
のお天気成績でした。

とはいってもおめ、たに来ない [] 氏が同行
しているため、30セキは彼にゆずり、おんは
もっぱら観望に徹したのでした。

[] 氏に同行した [] さんは「いわきのメンバ
ーの行動はてんでバラバラでびっくりした」と
語っていたそうですが、ここに来てようやく
理想に近い観測所生活がメンバーそれぞれ
過ごせるようになったと私は喜んでおります。

ある者は食事、そしてある者は睡眠、さらに
他のメンバーは観測準備やネガ工程等など
観測所での生活は多忙のはずです。

メンバー間の言葉交わし競争もさうにきびしくなると
思っています。

No5から5のつづき

三日 朝10時でさあ起きて朝のさんぽとしゅん
こんだ。おすめは歩いて [redacted] と二人きり。それで
カメラをかた手に冬のいぢきを写そうと出かけた。
観測スタイルのままの私は5分も歩くとあせなく。

冬か木の雑木林を写したり。切り出されたこんで
ある材木を写したり。 [redacted] さんはかなりシャッター
を切ったが、教えている私はあまりシャッターを切
らなまかなかった。行きに1時間半 帰りに1時
間半と。おすめと帰って来たのは1時を過ぎてい
たと思う。 [redacted] さんは山歩きをかなり好きでよく
山を歩くとする。カメラを新しく買ったので山にも
持て行くと写したいという。いい写真が撮れてくる
といいなあと思う。三日の夜は寝ん行って風呂んは
いり。カツオのさしみを食べた。とてもホリユーが
あっておいしかった。

四日 お昼で [redacted] さんと [redacted] さんがいっしょに
帰ってしまう 団中さんと二人になってしまった。昼め
んごの解体作業をやり。夜は写真撮映。い
いのかあればいいのが。

五日 私はこの日に帰子つもりたつたから

作業がすすむ。おすめと会社で電話して
6日と休みをとり。帰子の日は7日にのぼした。

朝からドーナの作業をやり。夜は撮映。22で
大木の木を切った。快晴で3時間も
かけてうったはすの字真か。シャッターの電源
コードかはずれていて、シャッターが開かずに写
像してみるとフィルムはまっしろけ。何のため
に3時間も寒い中かんばつたのたろ。ああ、なげな
い。

6日 1日中昨日のいばいでも、寝をしいた
おすめらPM4時。寝に行くと風呂んはいい
2時から5時くらい。5枚写して雪かぶり出し
中止。今朝AM4時これから寝ます。今年も
よろしく。

1990 1/20~21

天気: 快晴 - 時々曇り

気温: -12°C (KAKO 観測所にて) AM2:00

今回は久し振りに、^(この時季)ここに来る手段 = 車について
書こうと思う。私の様に東京に住みスキーを
しない人間にとって雪道を走ることがめつたに
ない。ここに来る時危いである。^(しかし)そのために
私は4WD車を購入した。すでに4年前の事
である。最初の2年間^(の冬)は夏タイヤ+チェーン
だったので4WDの威力は発揮されず、
逆にスピンしやすかった。そして前シーズン、
スタッドレスタイヤを購入したものの雪がなく、
今回初めてそのシステム、4WD+スタッドレスで
雪のR289をやって来たのである。

して、その感想は "鬼に金棒である。
(ABSがついていれば完璧だ。)"
全くもべらぶ安定そのままである。

もっとも限界がわからないので40km

以上は出さなかったが.....

さて、そのXリフトを考えてみよう。2WD+
夏タイヤ+チェーンと比べると、チェーンをつけ
なくて良いのは大きい。雪の降る夜の斜面で
チェーンをつけるのは大変だ。山のふもとから
雪がある場合はそれでもすぐにチェーンをつける
気になるから良いが、所々にしか雪がない
場合は、つい無理をしがちである。

それに、チェーンをちるには時間をロスするし、
乗りごこちも悪い。そして最大のXリフトは
一人でここに来る時の安心感と安定感で
ある。それは保険と同じ様なものである。
車は保険に入らなくても運転できる。

しかし任意保険に入らず運転するのは不安
である。どこから雪があるだろうか、どこから

チェーンをしようかとビクビクしながら
運転しなくてはならない。私のクルマの
システムにもウイークポイントがある。
それは最低地上高である。ランドクルーザー
の様にそれが高くないので除雪されないと
と走れない。しかしここに来る位いたった
ら十分である。

こつこつやって来た今日だが、さあがに
大寒だけあって寒く、 -12°C まで下がった。
KAKO 観測所の雪降しにも十時間近く
かかった。このキッチンもストーブをつけていても
 $+2^{\circ}\text{C}$ である。技天の方は予定通り月が
出てくる AM 2:00 までに 56 コマ撮影した。
前回の正月の新月では 180 コマ技天したが
この新月もその位いやりたいものだ。

No. _____
Date _____
今、酒を飲みながら、オールナイトフジを
見ながらこれを書いている。今日早く帰
って現像チェーンしなければ…… だが
市村さんが買って来た酒 “にごり酒 稲川”
はうまい！ あ〜 オールナイトフジが
終わってしまった。コンタクトをはずして
寝よう。

1990. 1. 22~23 (A) (火) 快晴
気温 -1.0°C (11-7時)
(女計測)

田中: [redacted]

今回は、まったく観測の予定がなく、ドームの材料を引き上げたけのためにやってきた。

今 23時過ぎ。

屋根の雪お引の必要もなく、([redacted] 氏からはX天体観測確認依頼はまだ来ない) セブニイラブにて買って来たおでんを、Linnで温めて、一人静かに食べています。

とはいっても、夕空のオース4: 彗星(4Aにたんと0等級の大彗星になる予定)が"見えている" (いいので、もってみたい気もするが) ... (もかいたさ)

オース4: 彗星のために明日あたり又来るかも... 明朝は朝6時にココを出発する予定のため、これから、眠ります。

外は 静かな 静かな 雪景色と満天の星です。

1990. 1. 27 ~ 28

日下列島が -30° -42° という大2号寒気団のすばり襲来した。まさに厳冬の「いしご」の田中さん、[redacted] と三人で来た。[redacted] は折角準備していたが「カセ」でダメ。途中でチェーンを巻いて、車は滑り止まらないうち、12時すぎに観測所へ到着。「暗いから、勿論星はベラベラ。

車中で田中さんが「今日は [redacted] 何いすか」と言われ、「エー 星空を見ようやろ」と思いついた。それいふ夫も入ったもう一人カメラを持って来た。部屋を温め、床敷のような履き足布もセオ12 としか 星空の挑戦! 外に三脚をセオ1台。「石下ノ梢に沈むオース4の星」と田中さん。すぐ字どおしに「三脚の脚を(つまり地面に)動かさず、星は、脚口固定(みか)と、全く初歩的ではとも知らず、字どおしに動かす。こうして20分も開放して「オース4」は、オース4は、オース4 星野享兵(とこの(ほうか)が撮ったことになってます。今回はこれに徹しといて、開放は、撮ったことだから10枚、同じ撮りもく撮りました。その間は上のオース4を、田中さんと「寒い、寒い」(-12°)を履き足布から、星の星空を見ようとした。

かんり座のほろ凍り星がゴリッ っ句が一ツ出ました。

田中さんは部屋を暖めたり、水が凍ったので、ス湯をカケたり、快適な観測所生活もありかとうございす。

[redacted]

1990年 1月 27日 ~ 28日

今日は惑星(木星)星の拡大と 30cm 直径撮影を
やった。昨日より少し存在感改良点が見つかつた。
カメラを付け2ピクセルを撮って 26mm フロントのピクセルが
生々しく視界の確認が非常に大々かしい。カメラの感度
では明るく見えず、多量状態のものは?? ...
次回までの宿題とされた。(2"のf=50cm 程度のアイピエース
も考えています)

1990. 1. 27 - 28. 天気快晴 気温 -8.5℃
田中

昨日の天文電報で、1990a (ウルト) の電報が
入った。
ちやと衝のあたりで、1/20-21に [] の写した
範囲に入っているはずと見て、さきほど、電報した
ところ、発見(1/21)の半日前にピクセル中心に
写っていたらしい。
彗星は? というところ、14等ということと、電報中に
雲が出たらしく、微光が写っていないのが、(くて
彗星は見出せなかったらしい。

(しかし [] 氏の手紙には実にうまく、女とは
14~15等を4エックでできるかどうかにかかっ
ていた。

1990 2/17 ~ 18

天気: 快晴

ちやと、1ヶ月振りの来所である。

だいぶ以前にふつた雪が積っており

車のスペースと、kakO観測所の屋根の除雪
に1時間以上かかった。

ところで、前回撮影した1990a ウルト、たが、
そこに有ると思つてネガを見ても、見つける事は
できなかつた。つまり私のシステムのパワー
不足であつたということになる。

しかし、パワーアップするにはお金が-----

やはり、明るいのが現れるまで待つしかない

今回の件は、私のやり方が正しかつたこと
が証明できただけで十分である。

1990. 2. 21(水) - 22(木) 天気バツマン
気温 +3.5℃

田中 [redacted]

この4-5月、大昔屋になる予定のオ-ス4: 彗星
をまた観測しては、他からの情報では
尾もは、ギリ見えないかというこもあり。
平日(水)ながら、午後に東京を出て来た。
勿来までは雲いっっぱい快晴だったが、夕
方に登ると雲が広がっていた。
雪はここ数日の積りかきためかまったなく、
ちょっと毒妙な感じがした。
西風が強く、一時的に冬型になったようだ。
雪はいつまでたってもどかす。結局22日、2時までに
晴れたいので、だらうとしてしまった。
ところが、朝6時半に起きたら快晴!!
例によって明け方までに晴れたようだ。

オ-ス4: 彗星は夕方ギリギリ見えるが、写真に撮る
には10分間、ここが精一杯のようだ。それと
西側りの木々が、高くなってしまった。

今日22日(木)は仕事を休みにしたので、西側りの
木の切りかきと、祭稿書きで一日を過ごす。
夕方まで、待って、もう一度オ-ス4: に48Lに
してみたい。

1990. 2. 25(日) 小雨 市村

今日は、誰か居るだろう、と思って帰って見ましたが、誰もいませんでした。
昨夜は、最高の天気だったはずなのに、みんな、どうしたのですか？

今日は、ちよと帰っただけで、早く帰ります。皆さんに会えなくて残念!

最低落石時間、5分

1990. 2. 25(日) 大雨

田中 [redacted]

市村さんと、水ずかの差(?)で、ここに着いた(PM2:00)
多分、昨夜はくもりだったはずですよ。(東京で予想した
感じ)

オ-ス4: 彗星を追って、いるが、どうも天気がおとな
らない。

1990. 3. 4-5
(日) (月)

田中 [redacted]

相変わらずオ-ス4: の追、かけでまたきました
今回も失敗

1990. 3.25-26 天晴時々曇り

気温 -1.5°C

田中

オース42彗星は、反対にも太陽に近すぎると
ここでは、すく山に沈むため、今も見えない。

新彗星 4エル=7. 木内-中村(1990b)は
ア=ド'DXQ'の中に約B.5等で見えた(120X20
双眼による)。

本日は昼向まで、夕方、20h00頃に七人毎帰りに
です。(女々しい)

1990. 3/28 ~ 3/30

3/28 昼、KAKO観測所横の砂利及び石を例の場所にスツ
で運んで、雨天に備えたが、あまり効果はなかった。まあ、それでも、
タイヤが沈み込んで底をこするほどではなくなった。ところが、つらい作
業でした。碎石を入れるという話は、早く具体化したい。雨が降り
続く季節になってしまっています。

それにしても、か——と雨。少しでも晴れ間を待って帰ろうと
思いますが、どうなることでしょう。山行も飛行機も踏んでいる方が
そんな気はない。まあ、30日まで、読書でもしよから、待てよ。

しかし、彗星会議の最中に祭見してほうなんぞ、行ったかスルイ
感じがしないでもない。

4/1 から 私は、
に転勤(着任)します。

田中

1990. 4. 18~19
(水) (木)

天晴 気温 -0.5°C

田中

オース42彗星を追いかけて、何回目には近づいたか?
結局、夕空ではつかまえず、明け方に回って、
ようやくキャッチした。

近日点通過後の情報では、消えてしまったとか、113
113あったが、19日朝の観測では4.5等、視直径5'
尾の長さ1.5度と、小型版入しーといた感じ。

でも、滞在で良かった良かった。
20日は仕事のため、水戸近くで、朝、観測にて。

1990. 4. 24-25 天気 快晴

(火) (水) 気温 0°C

田中

オースティン彗星を道って もう何回見たら30か?
 今夜はものすごくすばらしい星空で、今年一番の夜か?
 オースティン彗星は 全光度、尾長に 4/9に達して、明るく
 長くなっているようで、条件が良くなったためか、実際に
 大きくなっているのか、なんと判断はできな!!
 オースティンのベスト見ごろは4月中と想っていたが、5月
 にも大々かき大きく見えるかもいれない。

それにしてもすばらしいにつきる。なに13. 12センチ
 双眼鏡では3度の視野をはみ出し71まで
 いるのだから。

本日のオースティン彗星 全光度 4.5等
 尾の長さ 3度以上
 視直径 5'

まだまだ大きくなる オースティン彗星

1990. 4/29(日) ~ 4/30(月)

快晴

市村

快晴というわけで、3時間、自動車をとほしや、てきました。
 疲れのせいか、星がなかなか見づらくて困りましたが、
 尾のある、オースティン彗星を見て、話題には、ついでに
 ようになった。よかった。
 それにしても、期待はすれど、5月に入って、変身おこし
 願っておりました。

それから、やはり寒いので、こぼ。
 夜が明けると早く、寝る時間がたつとわかる。
 (7/10-27.)

天気はよければ、夕方、7時くらいまで、と想っておりましたが、
 何となく、あつかい感じます。

1990 4. 29~30 (日)~(月)

快晴

家を出た時、空は曇り、時々雨が降る。北窓で
 とてお天気の回復は無理か? (天気予報では順調に
 回復(というところ)と想いながら、上野から電車の
 乗り遅れ、勿来に近づくにつれ、空から雲は消え、気温は
 下り来、やはり山は残る。勿来駅での一時間、いっ
 雑談をしながら、車から乗りました。観測所へ来たとき、空
 夜半前は月が出て、空はきれいに、
 田中さんの奥さん、と友人の、かきへり、時間経過す。
 それ後、空は向けるか、たいに、オースティン彗星が
 昇つてくるのを待つ。木立の中に、見づらく、期待はずれ
 といふ、数回、撮影。12時、双眼で尾の長さは
 視野の半分、オースティンの尾が見え、観測所へ
 来たか、あった。

1990. 4. 29-30

晴 快晴

気温 +30°C

⊕ 中 [redacted]

久しぶりの休日前の来所。(2-3月は平日来所が多かった)

月没後(11時) ユニットのゴミ出し(のみで) ← 作業が

できず困ってしまう。ま、という曲に明け方になり

← オーストリアを見る。

4/25 朝に起きると、視直径は大きくなったものの食は

短くなったようだ。私の良所どころ、4/25が一番

すばらしい夜が"あ"、たと思う。

ここで、このゴールデンウィーク中の来所は終了と

なるか? 5/1-4まで、仕事の予定です。

1990. 5/2-5/3 曇

市村

天気が悪いのは承知の上で、友人を連れてやって来た。
田中君にもらうことになった。オーストリアの星のフォントを
取りに来たのと、酒を飲むためです。

久しぶりに [redacted] さんに会いました。

やはり、メンバーの皆さんと、顔を合わせるのには、いいですね。
他の人たちも、もっと来てほしいものです。

私は、今夜から、秩父星の里の「星空音楽会」の
会場へ行きます。主催者一人ということになってしまっ
ているので、この天気でも行かざるをえないです。

次回は、もっと天気がよければいいなあ、と。

Just

1990 5/1 ~ 5/3

半年ぶりの来所です。

ゴールデンウィークに入って晴天が続き、観測所にTELを入れてみると田中さん [] と [] さん、市村さんが来ておりよく晴れていて、オースチン彗星もよく見えるとのこと。私もオースチン彗星を目的にやって来ました。

1日夜 20:30頃到着。やはり横浜からは東京都内を走り抜けるというハンディは大きく、途中買物などもしたため6時間半程かかってしまった。

さていわきの空は上々の星空で、月が沈むのが夜半すぎというところもあって、ゆくり準備にとりかかると

久しぶりに降るような星空で、夏の天の川も良く見えるとあって、あまり写真も撮らず、のんびりと観望にふける。

お目当てのオースチン彗星は他のメンバーも書いているようにあまり明るくなく5等級か？

12cm双眼鏡でも、尾もあまり発達しておらず、尾の長さ1.5度程度と、 $\frac{1}{2}$ の田中さんの観測より一段落ちていた。

薄明が始まり、明けの明星のすばらしい光輝きに見とれていると北の方よりあつというまに雲が押し寄せ、30分たらずで全天を覆ってしまった。

2日の日は観測所は旧キガスの中で、することもなく雑誌など読みながら雲の晴れるのを待つが、一向にガスが引かない。

夜、22:30頃市村さんよりTELがあり、友人と一緒に来所すること、天気回復を期待しつつ夜明けまで起きていると。

3日 AM 4:00頃市村さん一向到着。実に久しぶりの再会です。下界もやはり天気は悪く、それじゃということで、**例**によって

荷物の整理もそこそこに市村さんと、友人と酒宴となり、夜がすっきり明けてから、フロンにもぐり込んだ。

さて次はオースチン彗星が、まだ明るいうちに来所できるように、仕事のやりくりをつけて又、やって来たいと思う。撮り残したフィルムのためにも。

1990 5. 5~6.

彗星 快晴
尾盤 +6.5°

田中 []

このゴールデンウィーク中はもう来れないかと思っていたが、雨が思ったより早く快復した

ため、またまたもってくることになった。

さて、オースチン彗星は前回(4/30)より尾はさくに短くなった(約1.5度)が、コマは約1.5倍ほど

大きくなった。5月25日の地球接近はどの位の大きさになるか興味深い。

1990. 5/26~27

1989. 1/26以来の来所です。仕事(私?)に忙しく
ほかほか来所していませんが、オーストラリアと見に来ました。
私と友人2名と来たわけ...

仕事も変わるため、6/10より大阪人になってしまいます。
11月に入社。11月20日とある回数に来たわけ? ほかほか
考えていましたか。エエエ。大阪は十三(ミナトウ)という
所に住みます。大阪方面へ来た際には、お土産より
お持ちしております。

天気はずっと晴れ。オーストラリアも頭はハジに見え
新しく発見した。1990c (L50-)も見つけた。12cmでは
見つけなかったか。16cmではよく見えました!

と、話か~~ら~~ててみますか。16cmJP部のみで、またまた斎藤さんの
JPに交換しましたので、2階のJPは極軸は和していません。
ご使用前に読んで下さいね! E160は、~~母~~ココマウが
付いてあります。ではまた!

1990. 5. 25-26-27

田中

オーストラリアは地球に一番近づいていいるが、す、かり
尾は見えてなくてしまったようだ。た、た。エエエ、
は大きくて、30分近くもあつたろうか?

さあ、これでオーストラリアのさしきもようやく終って
平常の観測ができてきた。

1990. 6. 13~14 ^{バタ} 夜 ~~観測~~ 観測

田中

梅雨の晴れ間をぬらして、平日ながさ来所したか。
ずっとバタ曇。

14日も曇~~り~~^は晴れたものの夕方からは東から
風が吹き始め、雲がやってきました。

大きな高気圧がやってくると、どうも晴れそうも
ないみたいだ。

1990. 8. 3-4-5 天気が悪い
田中

例年のごとく、夏の天気が悪いというのか
定説にはなっていないが、はたして、そうなのか？ 今年
観測所の周辺をリフトアップすることで少し調子が
よくなるかと思っている。

このまじの結果： 観測所が、霧にまつまれていると
西側の場合 東側へ、東側の場合、西側へ
降りてみると、果敢と晴れていることが多い。

しかし、先日、市村さんとも話をしたが、浄土平ほど
の天気の良さはとても望めそうもなさそうだ。
やはり夏場は2000メートル級の山が最高のよさだ。

1990. 8. 14-15-16 天気 晴→曇り→快晴
田中

今年のお盆の休日は2日をここで過ごすことにした。
今年と比較的、夏型が強く、東京やここではめずい
しくいい天気が続いている。いつもはくもりか霧の中
の観測所だが、今年はそのほどでもない。昨夜は特に
夏にはめずらしく、夕方から朝まで、快晴の一夜と
なった。しかし、相変わらず湿度は多く、明け方には
二階観測室はぐっぐぐと蒸気となってしまった。

やはり、夏の観測はどうも不得意だ。ポイント合
せも大変だし、夜露にびしょ濡れになるのは、望遠
鏡にも体にも良くない。

早く秋空がやってこないかな……。

1990. 9. 22-23-24. 天候 快晴
気温 16.0°C

久しぶりの来所 (1ヶ月以上) だが、1年ぶり位の来所のような気がする。

台風一過で、秋の高気圧が日本付近にあるため、今回は2夜共天候は最高だった。

それにしても、夜露がすごく、あ、という間にびしょびしょになってしまふ。主鏡側にもヒーターが欲しいくらいだ。

天気予報では、下り土曜のはずなのにけさ(24日)になってもまだ快晴。うちのカーさんはもう、帰るといって聞かぬさそうなので、今夜まで~~の~~居残りはとて無理そうだ。

1990 10/21~22

8カ月振りにサーベイを行った。やっと「いわき」のシーズンだ！早く帰って現像~~を~~をしなければ……

1990. 10. 21-22 天候 快晴
気温 7.0°C

田中

またまた、久しぶりの来所となった。ようやく秋らしくなってきたが、またまた夜露はすごい。

今回はコンピュータのCPを交換(はがりの調整)がメインで、サーベイをすこしやるこゝろができた。

先も復帰してきたので、いよいよ本格的にやるかな……

12日夜～

曇った朝。セーロン睡小子せん。天気図をみると、北ノ海岸から北陸、東北に、薄雲がかかっているようです。17時近く、朝子で、その朝子——徒労でした。

13日朝。

おひらき目覚めると晴れているので、快方に向っているらしい。(おれ、これ以上、いと、家庭が崩壊してしまいうる万の不幸。少し見てから、帰ろうと思えます。

今回は、17日朝のんびりまでで、いろいろと~~仕事~~かてまされた。特に、車の補修である。サビたところを磨いて、ペーパーを削り、下塗り上塗りとして、3ヶ所も乾燥してゆきました。あと、5年は乗らないうち、新しい車を買えばいいので、大へんです。

さゆから、市村さんを中心とした秩父の観測所には電話が入りました。番号は、忘れましたので、さゆうす。観測には向きませんが、気休めにはなります。

一応、下の部屋のフロンを布は、一日中、天井にさらしたので、湿気はとれていると思います。また、部屋にいたコオロギ、十数匹を退治したので、「敵」はもう、いないはずですよ。

天井裏とネズミが走り回っています。部屋に出てこないので安心ですが、5年は、2階の部屋を散歩していたといえるから、要注意。

13日夜。くもり。どうして、全国晴れているのに、ここにだけ、くもりかいた？
かゆい。帰る！！

秩父

1990. 11月16日～18日 (金～日)

天気はれ → ~~曇り~~くもり → くもり

15日に来た以後、こまごまとしてあります。仕事もまた秩父にあり、現在、実家(秩父)に居ます。16日は、おもしろい空で、栗年の仕事用の写真を撮ったりしていましたが、仕事でついでに出発して、03:30にダウンしてしまいました。

17日の夜は、くもり時々はれという天気。田中さんよりTELで、「霧が、星が、面が空に13等星、見えるから(1990年) 写しておいて」といって、少し写し始めると雲が... コマ撮ったけれど、写っているかどうかわからない。

というわけで、コンピュータによる天体観測の「ASTROKAYD 1991」が、12月17日付に発売されます。3800円程度のPC9800シリーズをお持ちの方はぜひ、買って下さいね。

では、秩父の総会で...

1990年 11月 17日 - 18日

田中

17日(土) 星の手帖の千円賞パーティで、香西先生と長谷川一郎先生にお会いした時、~~★~~「~~13~~等の新彗星が見つかった」との話で、「おれ大変」とばかり、情報収集のために3. オポポツツコ(衝)から西へ2時間ばかりの位置に出現したことがわかった。

1990年 11月 12日 - 13日 (土 - 日)

11/15 { 1h 45m 50.24s
+00° 25' 36.7" } 13等

11/16 { 1h 48m 15.35s
+00° 10' 37.3" }

すいさま 氏へも連絡したが、2人して「まあ、やめてしまおう」と声を上げてしまった。

というも、先週 11/12-13に私と 氏で、衝の付近を中心にサーベイしたが、11/12に私が23時から4時までを写して、11/13に 氏が来夜は2人で打合せの結果、彼が4時半-5時半を写す

ことになり、さて、今後はどこを写そうかと悩んだのだ。1時半から2時半までの衝の西側を撮るか、それとも衝の南側5-30分までを撮るか...、結局、衝の南側をサーベイしたのだ。やはり、黄道に近いに狙ってみたい。そうすれば、1002より3日も早くキャッチできたかも知れない。後悔先に立たず...、これから、1002の46センチユニットに対抗するために、非カハが、16センチユニット3本(11センチ) + 1本(移動用)をフルに活用したければ、サーベイのタイミングは非常に良かったのだ。あとは、広く撮りまくることだ。幸い、今度の正月は満月なので、満月過ぎの月を追いかけ、月一杯、撮りまくる計画を考えている。正月に、協力してくれの人を募集。是非、お早めにお知らせをお願いしますよ!!

11/24-25 ☀

1年ぶりのいわき。この1年何をやってたのかな... もっと自由にいわきに来ようと思っていたのに... カーフス、見られるといいな。

11/24-25

夏休み中に一度は来ようと思っていたのだが、事情が... 来られなくて。1年半ぶりぐらいの来所になりました。空はよく晴れていて星がととよく見えて、いわきの空はやはり素晴らしいと思えます。なるべく近いところから一度来たいなと思っています。

11/26~25. 19:20着 ~ 24:00発

今年も一年ぶりにいわきにやってきました。30cm反射で、中接近中の火星を見ました。もうがうつらと見えましたが、シーングがVモードで、マイクもかきと月も見れたので、高度が低く好リ良かった。

寒いけど快晴のいわきの空はすばらしい。来年は30cm主鏡で写真を撮りたいと思えます。

新井

11/22-23-24

今年の総会も無事終了して皆そわそわ帰っていた。

特に僕1人が会った人も多く、久しぶりの再会と、空を

楽しんだのだ。来年度はピラーまわりの工事が予定されて

いる。暗室も作られた。ボロボロやっていきま(め)。(田中)

12/9 (日). (晴天ではあが...)

月が明るい時に限って、晴天が続く。嬉しいような、悔しいような、なにやら複雑な気持ちが続いていたのですが、ようやく、晴天の最後の1日に、2時間ほど、見ることができました。しかし、空は白く濁って、カスミがかかったような感じで、スッキリしません。やはり、風が吹いてくれなると...

土曜日だというのに、[redacted] ひとりしかおらず。結局、12時過ぎから、手配、例に反して、飲酒懇話となりました。3時過ぎまで、缶ビールを4本も(しかも?)あけて、(2本・500ml×4=2,000ml→2本) 結局、朝方の観測は、夜が明けてしまっていたので(気がついたら、太陽が去っていた!!) あきらめて、ふいふいにもぐり込みました。眠ってしまった。

次回は、木曜日の夜に、採点の仕事をやってくるつもりです。

何となく時間をやりくりして見ますが、これは限界のようです。とは言ってもまだ、恵まれていられる方ですけれど。

あと今日も20日あり。来年はおわってあげてくれるので、最後にパッと一花咲かせよう!! みんな、頑張ろう。

市村

12/8~9

田中又天体のマイックを行うが... ---

↳ 毎度おなじみ

どうして田中さんのネガには? が多く

写るのであろうか。来週も来ます。

市村

12/14 ~ 12/17
(金)

予定よりやや遅れはしたものの、再びやってきました。
天気はくずれるという予報は、大はずれで、14日は快晴。
少し、とんよとしてはいました。朝は、いつもの冬の天気。
ふたご群の流星が、おもしろいように飛び散っていました。

再び双眼鏡を上にあげました。やはり西側を見たいので。
けこら星労働とありました。

天気がよりので、採点できません。 どうしよう。

15日は、昼間快晴でしたが夕方より雲が始め、とうとう、おぼろ
べつ曇りとなってしまいました。

ぬくぬく、一人で風呂へ行ったりしたからでしょうか。
夕にはともあれ、仕事の採点が15日の夜におわってしまふことは、
実に喜ばしいことです。あとは飲んで寝るだけですから。

採点中に田中氏からお電話。金沢にいらつこと。天気は悪い
けれど、休養のために来るとか言っていたが、われわれは、ITにて
よい。おんまではおないのだ。全く。早々とあきらめてくれた
ことに感謝すべきか。

田中氏到着前より日本酒を飲みはじめ、さーマイをつまみに一合
ほど飲んだら、田中氏来所。少し読をしながら、また一合。
結局、田中氏到着前に就寝ということになり、明朝、晴れてい
れば、起してもらうことにして床につく。

16日、午前3時半頃、晴れているよ〜の声で、ムッククと
起き上がる。気分爽快なるも、せうやく雲がからんでいる。
爽

双眼鏡で見ているうちに、わかり曇ってしまったので、4時半にまた
寝てしまった。

16日は、田中氏が、徒勞ともいえる来所にペリオドをうち、
立ち去るのを見送ってから、何もやることなく、ようやく持った
きた本を読み始める。『中世のことばと絵』なんて、この住人
と読む人は、あまりいないであろうネ。何とか、今日中に読
んじまおうと思つている現在(16日、午後3時8分)です。

夕方、外を見ると、シンシンと雪が降っている。昨夜は一時
横なぐりの、まさに吹雪という感じであったが、今日のはとても
静かだ。

ところが、夕食へ行く田中氏が、あわてて中に入、来て曰く、
快晴だよ、と。

私が外を見てから、ほんの数十分いや十数分かもしれない。
何という天気だ。

急いで着がえ、目が暗闇に慣れた頃、ゆくりと、西の方から
暗雲が流れてきて、全天をおおってしまった。何だ、これは!

田中氏はやむなく、帰ることになった。

私は、今夜、NHKスペシャルを9:30から見たいので、それまで
は曇つても、かまわないような気がしている。「大貴翁」? 正確
「大貴翁」です。

外は、さらに雪が、激しくなってきました。
これはもう、酒を飲んでも大丈夫ということでしょう。
それに、TVを見ながら、さーマイを、一杯といきましようか。

17日、朝、3時、目が覚めたので外を見ると快晴であった。
黄道光も低いながら細く長々と並び、実に美しい明け方の
空であった。

12/15~16

今年が来所した時には晴れて
いたのだが(つまり必ず晴れた時しか来所
していない。)今回だけは大雪の様だ。
「曇り一時雨」の天気予報で昨夜は快晴
だったらしいのに(私は会社の忘年会で
ヨクヨクだった。)今夜もまったく同じ天気
予報でこの冬初めての雪となってしまった。

今 16日 AM 1h 田中さんと市村さん
は晴れたら起こしてくれと言って寝ている。
私も3時になってもだめなら寝るつもりだ。
今年も早いもので残ることあと2週間だ
ある。私にとってこの一年は何もない一年で
あった来年こそは何か起きて欲しいものだ。
私が今年来所するのは今回が最後である。

Xマナーの皆さん 良いお年を /

1990. 12 15-16 初雪→大雪→快晴→曇
田中

12月16日 都合不良1日 サーベイガで来た気がする。
(赤) 3時半から6時半まで。雪の前後3時向きカー
で来たのが、全天の広さに比べたるととても
ちがいは範囲でしかない。

今年が来所するのはこれで最後となりそうだが
1月初旬には4日ほど滞在する予定なので
なるべく目一杯サーベイしてみたい。

今年が来所回数数は36夜。昨年の80夜に比べる
とかなり落ちたが、平日、富士山行きが20回
ぐらいあるので写真を撮っている夜は例年以上
かも多い。

では1月4日にまた来ます。

12/30(日) AM 9:30 ~ 10:15

高橋 [redacted]

捜索願

昨年12月以來1年ぶりにやって来ました。やって来たというのは、実は1年前来所した際に忘れてしまった大切な私のズボンとバント、これを引き取りにやって来て、しつと寄ったわけですよ。

ところかどうしたことでしょう。(あたりまえかもしねませんか?) 1年前に忘れて行った2階のタンスの中に私のズボンの姿はどこにもありません。

たれか、私のズボンとバントを知りませんか。ご連絡頂ければ幸いです。

1991 1/5 ~ 6. [redacted]

新年明けましておめでとうございます。

5日の夜は予定通りサーベイしたものの

6日の夕方は冬型が強くと雪となりました。

やはりいわきは11月~12月がベストの空であらう。

1991. 1.5 ~ 1.7

市村

無事に新年を迎えることができて何よりです。

家族の「また行くの〜」という声を背にして再びやって来たのは、落ちついて寝られるのは、何うかわけはうか。家にい子とより、ここにい子の方が、よく寝られるから、不思議です。

さて、観測の方は、ヒューと、5日の晩に2時間ほどやったんだけど、あとは、10時半ごろから、倒れこぼれ、"酒宴"となりました。今回はめずらしく、田中氏も飲むし。(なまなまといふもんだい!) 有藤氏は、つ、こたして、過去のうしろが、少しゆらいた感じの皆さんでした。

5日以降、天気は下り坂で、冬型の気圧配置が強まって、6日の昼から雪が降り出し、ほぼ一晩降り続いて、7日の朝に快晴! と、た、たわけです。でも、3晩(7日、今日の夜をいれず)のうち、ほんの少ししか観測してないわけですが、まあ、この時期には、よくあそびのひとりでしょうね。

今から、車にエンジンをつけて帰る用意をしようと思います。面倒ではありませんが、念のために。

次回の来所は、春でしょうか。またまた来週でしょうか。天気次第ということですが、今年も、大きなモノを収めて頑張ります。

本年もどうかよろしく。

15cmの双眼鏡は、当分の内、おいとります。

1991.1.4~7.

1/4 晴→曇り
1/5 快晴
1/6 吹雪
1/7 快晴

田中 [redacted]

今年の正月は3泊4日(4夜)の短い滞在とはったが、3勝1敗と、殊はまあまあ恵まれた方だ。

今回の42獲は「自動取像装置」が使えるようになったことだ。これで、何枚撮ってもぬいどうたの取像の苦勞がいさなくなる。

今回、石油ストーブを持って来たが、あまりにも暖かく、外気との温度差があるためか、どうもカゼをひいたようだ。やっぱり、食室には電気ストーブだけでいいのかも、といえ、石油ストーブは暗室で使うつもり。

今回のカーベイはまあまあ範囲ができたと思う。しかし、大変なネガキエック地獄が待っている!

1991.1月14~15日 (晴の朝曇り)

11日に来所してから、星ははや遠くかへてしまったが... 14日の昼に「1111天気がいいよ、よし1111きへ行こう」ほわ、思ってしまった。[redacted]とを誘って来所しました。E-1601にコンピュータを付け、TP2のプリント出しました。結果は、X 2と、かんばらねと... ま、ほわ、ほわ、ほわ... 近いうちに、東京に復帰する予定です。では、お別れ。

1991 1/14~15 [redacted]

明け方の空を観測する予定だったが、雲られてしまい、久しぶりの [redacted] さんと飲んだ。それにしては年明け早々と。

1991 a. b と出てしまい、田中さんと私はくやしい思いをしてしまった。

これからが本番だ!

1991. 1. 13⁽¹⁰⁾ ~ 15⁽¹⁴⁾ (成人の日)

市村

13日は、7:30に到着。8:00から西天の1991αを見る。8~9等級で5'以上の大きさでした。実に古い獲物でした。残念！
1991bのアイヌ星は見えない。すぐに雲が広がってしまっただけで、一見は、わからない。というよりは、暗いという事か。

14日は、田中 [] 1名、 [] 氏と、とてもにぎやかな雰囲気であった。
夕方から8時頃までは快晴であったが、昏る頃には雲が広がり、残念な天気になってしまった。
朝方、4:30~6:00の間、宴会。

15日、只今、2時30分。天気は快晴に近く、今夜はよさそうである。10時近くまでやって、帰りこじになりそうだ。朝方の空が気に入るが、まあ、仕方ないという事か。

1991. 1. 14-15-16 天気 快晴 気温 -2.5℃
田中 []

それにしても、P/MXトカ-707"112"の点(1991α)は借いいことをした。

やっぱり、甘-1'1(2)と、ちんちん(4)と、(1)と、甘んにもたすやない。

しかし、わざと、2月で、15等級から10等級まで、急増するとは、まいったまいった。

本日はとこ、8.5等級で、尾もあつた。

1991. 1. 19 ~ 1. 20.

市村

全く、予定していなかった来所であった。果ては、やっほりの3人だった。今回は、娘が同行してあり、まあ、風邪きめて、よく寝てあり、あ、一応、冬の星座と、夏の星座を見せ、あとは、適当に観望してもらって、納得してもらいました。

今年のいわきは、例年になく暖かいようで、雪がほとんど有りません。それが、今年、来所を多くしている原因だとも思いますが、いや、いや、いつまで続くのでしょうか。できれば、このまま、いつまでもに思っています。

それにしても、金がかかりすぎ。

1991 1/19 ~ 20.

3週連続の来所となった。こつ何回も来るようになる。市村さんも言っている様に、お金がいくらあっても足りない。そこで私は、一番お金のかかる高速代を減らすためになるべく一般道を走ることになっている。往復一般道で走ると費用が半額位いって、あむ。

来月も天気さえ良ければ3週続けて来ることになるだろう。

1991. 1. 19 ~ 20 ~ 21

田中 []

16セ=4'7"110"の点もおおく出た。あとは10分露出ですすめる方法を考えなくては...

1991 2/2~3

毎年の様に「今年は暖冬だ」と言われているが、この冬ほどこの時期になっても雪の無いいわきも珍しい。だが雪の無いのは路面であって、2月の夕方は星が見えているのに風花が舞い、撮影が出来ない。薄明終了から月出までわがが2時間の為に家から6時間かけてやってきたのに一年明けからのいわきは冬型が強いとヤッは「リダメだ」と痛感させられた。明日になれば冬型が弱まると天気予報で言っていたので明日の夕空に期待しよう。そうそう、さつき市村さんから電話があった。市村さん開口一番に「ヤッはり行ってたの」ということで「明日の夕空絶対に晴れるのなら行ってもいいんだけどお〜」とヤル気満々。なにせ市村さんには昨年度来所夜数でそれまで2位の座を守り続けてきた私をあっさりと抜かされてしまった。今年度もすでに大差をつけられている。ところで毎年ギネスものの来所回数を誇る方はどうなったのだろうか。明日来所のか月に関係なく今夜来所のか？電話をしてみよう。ジーコジーコ「いや田中です。」といつも明るい奥さんの声。明日の夕空に賭けると言ってお仕事場からまっすぐこちらに田中さんは向かっているらしい。しかし私と同様に経費節減の為下の道を通って来所なので着くのは遅くなりそう。奥さんは自分は所帯得税の申告で志がしいのに亭主と来たさ〜とか。金食い虫なんだからとぼやいていた。そういえば以前市村さんがいわき来所夜数は「家庭不和のバロメータだ。」と言っていたのを思い出さず私であった。

2日 PM 8:00 もう一度天気をチェックしてみよう。ありや！さつきまで星は良く見えていたのに完全な曇りになってしまった。風花はあいかわらずだ。早く田中さんこないかなあ。いわき名物の宴会をやつて明日の夕方まで寝よう。田中さんが来るまでは何もする事がない。

3日 PM 12:00 昨日は結局田中さんが来る前に一人で飲^飲んで10:00には寝てしまった。さつき昼の天気予報を見たがどうも思わしくない。現在の空もくもりがちで風花が舞っている。残念ながら今回はあきらめた帰ることにしよう。

と一度は決心したものの部分的に見える青空と田中さんの言葉に再び夕方まで残ることにした。さつきは田中さんとさつき荘に風呂に刈りに行って来た。今 PM 4:00 田中さんは寝ている。空の方は快晴に近くなって来た。風花もない。この分ではいけば撮影できそう。5h:00amに白樺に食事に行く予定である。市村さんは来ないのかな？

3日 PM 9:30 撮影は成功した。帰京する。

1991. 2. 2-3-4

田中

上記の斎藤氏の記録のように、本日は夕方に曇一つは快晴。気温も-10℃と暖かい。自動現像器による現像も見たので、PM 10時30分にここに出る事ができそう。

1991 2/9-10

この時期のいわきは天気が回復基調にある時より
むしろ天気が下り坂にさしかかったころの方が晴れ
るようで前回の2/2-3の時も2日夜が雪で3日夜が
快晴となったがその3日夜も帰り道で水戸あたりから
ベタ曇りであった。今回も来る時東京では雲が段々
広がってきたがここは快晴で10日 AM 3:00に
なつて曇りとなった。私はその前に撮影を終了
していたが田中さんはまだたつたので残念な事に
なってしまった。

5/10日 AM 4:00 田中さんは先に寝てしまったが
私は一人で⁵飲んでいる。10日、11日と連休だが
低気圧が近づいているので今日帰る。
帰ってからゆっくり現像、ネガチェックをしよう。

AM 11:30 雨の音で目が覚めた。2月になって
雨に在るとはやはり今年はおたがいの春だ。

1991. 2. 9-10.

晴 快晴⁵ → 雨 → 雪
気温 -4.0°C ~ -2.0°C

田中

天気が下り坂のため PM 7:00 に仕事を終え、高直
をす、飛んで来たがここは快晴。しかし、何度東京
へ出張しようかと思つたことが、例によって土浦あたりは
ベタ曇りだった。

そと3. 100ccあたりが、今日のサーベイを開始するころだ。
今日は斎藤さんと2人でたつたが、衝のあたりをたたく
ことができた。

1991. 3. 5-6-7

田中

満月も過ぎ、またサーベイコンマになつたので、
火、水、木と3日休みを取つて平日に帰つ
てきた。今日は西天のP/T=ニガの抽査がメイン
で、衝の付近は余裕があった。ついでにたつた。
天気が5日、6日とも快晴で、快調だったが、
今夜(7日)まで残ることができなくなつた。(東京の
積算のため)

そのため衝付近は、11時半と12時の2ラインを
あつただけで引き上げるのは誠に残念。

今後まで、居残れたら、かなり範囲をできると
思つた悔しいが、まあ仕方ない。

それにしても、まだ外は快晴が続いている。

1991.5.17-18-19 爽快晴 気温+12°C

田中

5月の連休にここらへんまでから 新2階向りの
来所。

観測所の手回りはすっかり、青一色になっていて
虫たちも動き始めたようだ。

久し振りの大高気圧がやってきそうなので、今回は
土曜日もOFFにして、2日の予定で、カミさんと
来た次第。

2日肉をまねて、快晴となり、ほぼ予定通りの
サーベイができたと思う。ただ、今回から、撮影
方法を変えて、1つのコマに2枚露出して（もちろん
時差をずらす）その中から移動天体を捜そう
というもの。たに13 ~~mm~~ プリンク コニパシーワー
カなく、1台の顕微鏡でチェックするためには
この方法が良いと思われたから。

しかし、この方法だと、撮影コマ数が急減して
ほう。しかし、そのも仕入あるまい。たに13
2枚のネガを別々にチェックすると、大変な
時間がかかってほうか。

18日(日)は、昼頃まで来たが、すぐ帰る予定。
その時に、1階和室にバルコニーを新たに予定。

梅雨も夏に向けての予防というわけ。

さて

今回のサーベイの成果が楽しみだ。

NO

91年6月8日~9日(土、日) 晴山、曇り、晴山。

久々に来所しました。7月の日食に行くため FC50を
持ち寄り帰ります。カメラには E1600のカメラ、鏡には P2の筒を
取り付けましたので、お便りください。

このところ仕事か忙しく、5月は 休日か 1日も無いという
日が続き、体がホロホロです。日食から無事帰る
ことと 11の予定です。

では また...

91年6月8日~9日(土、日)

何年ぶりが忘れてしまったほど、久しぶりの来所です。今回の
来所は、星を見るためではなく、所有している 望遠鏡を
売るためにやってきた次第です。(星の方は 12cm 双眼で、のぞ
くだけにすることにしました。当面 望遠鏡は使いそうにないので
処分することにしました。)

ほくだけじゃなくて、他の会員のみなさんもいろんな都合で
観測所からだんだん、足が遠のくことは仕方ないことですが、
いつかまた みなさんとワイワイガヤガヤ 楽しく星をみる日
がくると思いますので、引き続きにして、ホソホソと
天文を続けていくつもりです。

1991年 6月 8日~9日

田中

結局、新妻氏所有の P2コニパシーワー 260型赤道儀と E-200
を新の方で購入することになった。

これを2階の観測室に移して、今秋から、さらに
サーベイ区域を広げる予定です。

1991. 6/15

昨年の5月以来、1年ぶりの来所です。
仲々仕事の都合と天候及び月令の条件がおり合わず、とうとう一年間の御無沙汰となってしまいました。(そもそもこれは今回に限ったことではありませんか……)

横浜を出る時より天気は曇りでしたが、今回は久しぶりの空飛サービスに乗っていたので、あまり天気は期待しないで来てみたのですが、やはり観測所の上空は厚い雲に覆われており、天候の回復は望み薄といった感じです。

夜、田中さんより電話があり、うみ座とみづじ座の境界付近に3等という明るい新彗星(コメットレバー)が発見されたばかりなので、確認してほしいとの連絡でした。生憎の曇り空のため、明け方まで頑張ってみましたが、ダメでした。とはいえ、久しぶりの明るい新彗星で、ひとしきり天文界の話題になりそうです。

1991. 7. 6~7

天候晴→曇り

田中

久しぶりの来所。

梅雨入りしてから、なかなか晴れず、今回も
ダメダメ3日と愚っていたが、なんと夕方から快晴と
なり、夜半まで続いていた。しかし、この観測所周
辺はいつも通りガスの中となっており、改めて夏場
の天候の悪さを思い知らされた感じだ。結局、こ
こに着いてから、朝までまったくダメで、昼前に目を
さました時には例によって晴れていた。

1991 8/15~16

2月以来半年ぶりの来所です。この半年間にいろいろありまして天文(彗星のサーベイ)はもつてきそうにもありません。これからは年に2~3回のペースでほけつと星を見に来る程度だと思ひます。田中さん市村さん私の分もかんはつて一つでも多くの彗星を発見して下さい。

今度来所する時は彼女を連れて酒(ビールではない日本酒)を飲みに来るつもりです。式は来年2/9の予定です。それでは---

1991 8/15~16 (木)-金

本日は晴天なりじゃなかった。本日は先日田中さんに売却した望遠鏡をいぬき天体観測所にセッティングする為、田中さんとサツキの予定であります。

3人がかりで無事セッティングでき安心しました。

以上簡単ですが、これであやります。

1991. 8. 11~16 (5泊6日) 田中毅明

今年の盆休みは前半は雨や曇が多かったが後半は結構いい天気となった。昨夜(15日夜)などは夕方から朝までド快晴で、夏にはまったく女々しい夜となった。これで8月15日はまさに晴れの轉変日になりつつあるようだ。

1991. 8. 31. ~ 9. 1. 夜晴時々くもり

田中

東京は台風14号がまっ後、また夏空になり熱帯夜(26℃)となつたようだ。

ところがここはもうすっかり涼しくなり、秋の

ようだ。野萩やコスモスも満開となっている。

夜空はというと、まだすみ渡る秋の空とは

いかないうちで、雲が多く、モヤモヤ多い。

現在、最も明るい彗星は P/Hartley-2 (8等) で

P/Levy (9等) ウィルターネ (11等) などとなっている。

いるが、今年大出現したホルセラース座流星群の

母彗星 P/Swift-Tuttle 彗星(周期130年)が突然

出現するかも(いらないので) 夜空から目を離

せようがない。

1991. 9. 6-7

秋快晴 → くもり 気温 20°C
田中

6日(金)は日中から強い風が吹き、モヤが吹き飛ばされて、すばらしい空となった。これは夜にかけても続いていたので、台風15号もよいかから下ってきた前線が気にはなったものの、またも、ってきた。来る途中も着いてからもいい天気は続き、ルニルニ気分です。ベースブルックとP/4エルニフを撮ったまじは良かったが、夜中の1時半過ぎから、突然西から雲がやってきて全天をおおってしまった。朝まで晴れず、朝まで3時半にぐら。

7日(土) 昼の ~~天気~~ 予報では、いよいよ台風15号が来てくるらしい。さきほど(14時半)からは ~~天気~~ ついに雨が降ってきた。本日はカシタさんが電車で行く予定だったが、お符をキレカレさせた。仕方ない。帰ることにしよう。

1991. 9. 14~15~16~17

秋 14日 雨
15日 くもり 霧
16日 くもり

田中

それにしても毎年のことながら、9月は秋が悪い。今回は雑誌(スカイウォーカー)の取材があったので、一人で、14日からやってきた。14日は台風16号と前線のため、大雨。ぬぼりにゆがって、17日の朝3時に帰る予定であるが、はたして、それまで、晴れるかどうか。

1991. 10. 13~14(A) 秋 快晴 気温 +10°C

台風21号が通りすぎ、台風一過の快晴になるかなと思い、月曜日をオフにして、1カ月ぶりにやってきた。このところの雨で、観測所の中はすかきカビがはえ、到着と同時に大掃除をやるはめになってしまった。さて空はというと夕方から晴れ始め、月の沈んだ9時すぎからは全天雲一つない快晴となった。やってきたがいっぱいだった。朝までその快晴は続き、順調に撮影してきた。夜明けはなるともま、赤にまわっていたが、火山の影響で大気中にチリが多いのだろうか。

91. 11. 4

同期開催のころく 久々に出現しました。

観測所について。

予定が変更して113人で済む。

まだ来るときは サイディング張りで中は骨組みだけ二階が上がる
うして たたみ張りしていいか。

観測所の設備をフルに使用してもらい満足

採集場所が宜しい。

91. 11. 2~4

総会か近づくからよやく 会計報告(木曜日からはじめ)を
とめておし 土曜日の朝にプリンアウト打。いつもの車からさわじい
日程を。とぎすて 観測画計画は全くなし。9/12の新しい Hi-8 の
ビデオカメラを天体で試写してみることにする。9/12のFDレンズ(85mm F1.2)を
作りてアプデス 9~10日(マイグ-で確認)は写すの 30mm 程度
可能な程度は期待できる。次回はこれを試してみます。

91. 11/3~1/4

総会出席と観測を兼ねるつもりで来所しました。空は雲が99%
りまはとつ スッキリしませんでした。PM7:00頃より回復し ややモヤッ
あるもののスしぶりに秋の銀河をながめられました。

しかし夜"リ工"かひどい! 望遠鏡 ~~（壊れた）~~ (私のです) ~~（壊れた）~~
にもアクシデントが発生し、写真撮影の方はほとんどダメでした。

当り前ですが、やはり機材も時々はメンテナンスを心がけておきたい
とキゲンをそこねるようです。

1991. 11. 2-3-4

田中

今回の総会には8名が出席。

きたる重要議題もなく、会計報告と雑談で"とど"こお
なく終了。

毎とんどの人が年1か2回しか来られないし、まして
何年ぶりかの出席の人もいて、きいどい話題には
ことかかた。

空もたんとか食えて、~~きいどい~~きいどいに楽しんで"よた"。

今年も雨が多かつたせいか、紅葉の色は"いまち
だが"きいどいも、きいどいカエデなども月になった。

諸々の理由で、観測所へはなかなか来れなく

なる人も多いが、これからは墨室がますますきいどいに

なる季節なので、1回でも多く、^{おはくの人に}観測所ライフを

楽しんで欲しいものだ。

1991 11/15-16

久しぶりの来所です。今年最後になるのは
まじがいありません。来年は、ウーン ほとんど
これないでしょう。

いつの日にかまた観測できる時まで XVバーの
皆さん私の分までガンバってやって下さい。
それでは---

11/16

市村

まだ、います。15日朝方に帰ろうかと思たら、自動車が動かず、
JAFに来てもらったのですが、その中々々で、とうとう、修理工場入り。
結局、2日も年休をとるはめになりました。何やら、
電気のケーブルが切れちゃったようで、とんでもない出費となっちゃ
ました。今度来たときは、覚悟を深めて来たいし、いけません。
や、自動車の新しい方がいいです。あと、2年我慢したいと...。
天気はすっぴいなのですが、心が晴れません。
当分、家から出してもらえないような気がしてきます。

11/17

田中

朝9時に東京を出て、午後2時半に到着。
今回は午後から天気が快復しとうだ、とのこと。
月明りの中で、ポイント出しの予定だ、だが、
現在、9時過ぎの時点で、まだ、バグ。
仕方ない。時間切れで帰ることにしよう。

1991. 11. 22 ~ 23 天候晴ときどき曇り気温4.0℃

田中

今日はド満月ながら、器材の調整のため来所。
16センチリニエータのピント出しと赤道儀の極軸出し
が目的。

まず、260型赤道儀の極軸はほぼ合ってきたよう
だ。リニエータのピントは帰ってチェックはなしてはわ
からない。

そのにしても、本日は11Aとは思えないほどの月人ゆか
と作小春月よりだ、た。山の散歩はこんな日に
限る。

1991. 11/29

＜田中＞

Eのロケ出しをするために来所しました。ハタ電が、いじが、
＜もり＞のころ、ロープも、おんじ、寝るとするが、
明日も＜もり＞から、新井エノの所に、行かなくては
2日、明日も＜もり＞です。
日曜日は、どうするかな...

1991年12月1日 ほぼ0°C

今日は新井さんの開所式の後にも来てました。
田中さんと2人きりでね。
8160のピストが出てるよと1111のたけしとマコ
11時の時乗り付 21:45 夕38 帰るよさかの時。
空はホッホッと下ちつと11時52分...
果てしなく寒いと思えます。ではまた

1991. 12 1~2 天気快晴, 気温0°C

新井君のドームの開所式のと森口君と2人で
ピスト出しのためにもつてきた。

リュックも5台ともはると 甘かほか大袋で、ちっほ!!

腰袋(大工さんのくま入れです)のようなものを

バス下げたければ、ダメそう。次回、いも正月

頃には、そのシステムを完成させたものな。

もうそろそろ22時、早く帰りたいと、白雪姫の

時間とはぐくにすぎ、明日の仕事にさしつかえ

そう。

1991年12月4日-5日
(水) (木)

天気バツ悪 気温+1.0°C

田中

移動性高気圧におおわれて、快晴! となるはずが、
ここに高いたゞバツ悪、あまりに気温が高すぎて、
海側に低気圧が発生したのだろうか?
2時すぎてもダメそうなので、ひとまず、仮眠します。
3時にヤットした仮眠がと起きると晴れていた!!
結局、5時半までピスト出しをやることかできた。

1991. 12 7~8

天気快晴 → バツ悪
気温+2.0°C

予報では夜半から曇り、そして8月(日)は雨が雪に
なることだったが、夜半までの4+2で、1~2時でも
できればと思っ、つてきたが、曇の定着いた時
は快晴だった。準備は済ませ、南東からバツ
悪になった。おかげで、12時から眠ることかでき
14時の1111 骨休みとなった(負けおみ?)

1991. 12. 14-15

天気快晴 気温+0.5°C

田中

今年最後の来所となるかと思、つて、つてきました。
1. たご群もさることながら、久しぶりの聖堂に結局
朝まで、起きてしまいました。

5本のリュックのうち、ベストは2本、灰のうす2本はま
ま、体はダメ、まだま、追い込みの時間がとられそう。

1990年1月

日	節	天	来	所	首	内容
1	月	快晴	○	市	○	(木) 市外
2	火	快晴	○	市	○	市外
3	水	快晴	○	市	○	市外
4	木	快晴	○	市	○	市外
5	金	快晴	○	市	○	(中) 観望
6	土	快晴	○	市	○	
7	日	快晴	○	市	○	
8	月	快晴	○	市	○	
9	火	快晴	○	市	○	
10	水	快晴	○	市	○	
11	木	快晴	○	市	○	
12	金	快晴	○	市	○	
13	土	快晴	○	市	○	
14	日	快晴	○	市	○	
15	月	快晴	○	市	○	
16	火	快晴	○	市	○	
17	水	快晴	○	市	○	
18	木	快晴	○	市	○	
19	金	快晴	○	市	○	
20	土	快晴	○	市	○	新井-VI
21	日	快晴	○	市	○	何れもす
22	月	快晴	○	市	○	
23	火	快晴	○	市	○	
24	水	快晴	○	市	○	
25	木	快晴	○	市	○	
26	金	快晴	○	市	○	
27	土	快晴	○	市	○	1990 a の 4工 (中)
28	日	快晴	○	市	○	木金 観望
29	月	快晴	○	市	○	観望
30	火	快晴	○	市	○	
31	水	快晴	○	市	○	

1990年度来所回数

(単位)

(1989. 12 ~ 1990. 11)

1	市村	36夜
2	市村	20
3		11
4		6
5		4
6	市村	3
7		3
8	市村	2
9		2
10		2
11		1
12		1
13	新井	1

合計 92夜

1990年3月

日	曜	天候	来所者	内容
1	木			
2	金			
3	土			
4	日	晴	田中	
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土			
11	日	晴		
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日			
19	月	晴		
20	火			
21	水			
22	木			
23	金			
24	土			
25	日	晴	田中	新巻屋(99069工)
26	月			
27	火	晴		
28	水	雨	市村	砂利運入
29	木			
30	金			
31	土			

1990年2月

日	曜	天候	来所者	内容
1	木			
2	金			
3	土	晴		
4	日			
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土			
11	日	晴		
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土	快晴		
18	日	晴		
19	月			
20	火			
21	水	晴	田中	
22	木			
23	金			
24	土			
25	日	晴	田中 市村	
26	月			
27	火			
28	水			

1990年5月

日	曜	月	日	内容
1	火	水	木	快晴 市村
2	水	木	金	市村
3	木	金	土	
4	金	土	日	快晴 田中
5	土	日	月	
6	日	月	火	
7	月	火	水	
8	火	水	木	
9	水	木	金	
10	木	金	土	
11	金	土	日	
12	土	日	月	
13	日	月	火	
14	月	火	水	
15	火	水	木	
16	水	木	金	
17	木	金	土	
18	金	土	日	
19	土	日	月	
20	日	月	火	
21	月	火	水	
22	火	水	木	
23	水	木	金	
24	木	金	土	
25	金	土	日	快晴 田中
26	土	日	月	
27	日	月	火	
28	月	火	水	
29	火	水	木	
30	水	木	金	
31	木	金	土	

1990年4月

日	曜	月	日	内容
1	日	月	火	
2	月	火	水	
3	火	水	木	
4	水	木	金	
5	木	金	土	
6	金	土	日	
7	土	日	月	
8	日	月	火	
9	月	火	水	
10	火	水	木	
11	水	木	金	
12	木	金	土	
13	金	土	日	
14	土	日	月	
15	日	月	火	
16	月	火	水	
17	火	水	木	快晴 田中
18	水	木	金	
19	木	金	土	
20	金	土	日	
21	土	日	月	
22	日	月	火	
23	月	火	水	
24	火	水	木	快晴 田中
25	水	木	金	
26	木	金	土	
27	金	土	日	
28	土	日	月	
29	日	月	火	快晴 田中
30	月	火	水	

1990年7月

日	曜日	来所者
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	中
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1990年6月

日	曜日	来所者
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	中
13	水	中
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	中
24	日	中
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

6月

1990年9月

日	曜	断	来	所	者	観測内容
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					
14	金					
15	土					
16	日					
17	月					
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					

断
制

日
中

1990年8月

日	曜	断	来	所	者	
1	水					
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月					
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日					
20	月					
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					

断
制
大

日
中

月の観望

断
制

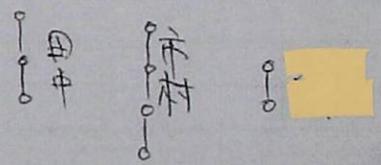
日
中

ELF -
#-1's

1990年11月

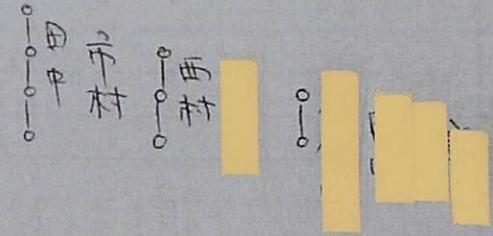
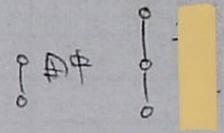
日	曜日	断	種	来	所	者	内容
1	木						
2	金						
3	土						
4	日						
5	月						
6	火						
7	水						
8	木						
9	金						
10	土						
11	日						
12	月						
13	火						
14	水						
15	木						
16	金						
17	土						
18	日						
19	月						
20	火						
21	水						
22	木						
23	金						
24	土						
25	日						
26	月						
27	火						
28	水						
29	木						
30	金						

秋
= 9
"



ハーバイク中心
*

秋



1990年10月

日	曜日	断	種	来	所	者	内容
1	月						
2	火						
3	水						
4	木						
5	金						
6	土						
7	日						
8	月						
9	火						
10	水						
11	木						
12	金						
13	土						
14	日						
15	月						
16	火						
17	水						
18	木						
19	金						
20	土						
21	日						
22	月						
23	火						
24	水						
25	木						
26	金						
27	土						
28	日						
29	月						
30	火						
31	水						

秋



CP調整
ハーバイク

1991年1月

1990年12月

日	曜	断疑	来所者	内容
1	火	○断		
2	水			
3	木			
4	金			
5	土		○市村	
6	月		○市村	
7	火	●断		
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			
12	月			
13	火			
14	水	○断	○市村	
15	木		○市村	
16	金		○市村	
17	土			
18	月			
19	火			
20	水			
21	木			
22	金			
23	土	●断		
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	月			
31	火			

日	曜	断疑	来所者	内容
1	土			
2	月	○断		
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	月	●断	○市村	
9	火			
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	月	●断	○市村	
15	火		○市村	
16	水		○市村	
17	木	○断		
18	金			
19	土			
20	月			
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			

1991年³月

日	種	種	来	所	者	内容
1	金	藤				
2	金	藤				
3	金	藤				
4	金	藤				
5	金	藤				
6	金	藤				
7	金	藤				
8	金	藤				
9	金	藤				
10	金	藤				
11	金	藤				
12	金	藤				
13	金	藤				
14	金	藤				
15	金	藤				
16	金	藤				
17	金	藤				
18	金	藤				
19	金	藤				
20	金	藤				
21	金	藤				
22	金	藤				
23	金	藤				
24	金	藤				
25	金	藤				
26	金	藤				
27	金	藤				
28	金	藤				
29	金	藤				
30	金	藤				
31	金	藤				

1991年2月

日	種	種	来	所	者	内容
1	金	藤				
2	金	藤				
3	金	藤				
4	金	藤				
5	金	藤				
6	金	藤				
7	金	藤				
8	金	藤				
9	金	藤				
10	金	藤				
11	金	藤				
12	金	藤				
13	金	藤				
14	金	藤				
15	金	藤				
16	金	藤				
17	金	藤				
18	金	藤				
19	金	藤				
20	金	藤				
21	金	藤				
22	金	藤				
23	金	藤				
24	金	藤				
25	金	藤				
26	金	藤				
27	金	藤				
28	金	藤				
29	金	藤				
30	金	藤				
31	金	藤				

1991年5月

日	曜	節	天	来	所	者	内	容
1	水							
2	木							
3	金							
4	土							
5	日							
6	月							
7	水	下弦						
8	木							
9	金							
10	土							
11	日							
12	月							
13	水	朔						
14	木							
15	金							
16	土							
17	日							
18	月							
19	水							
20	木							
21	金	上弦						
22	土							
23	日							
24	月							
25	水							
26	木							
27	金							
28	土	满月						
29	日							
30	月							
31	水							

1991年4月

日	曜	節	天	来	所	者	内	容
1	月							
2	火							
3	水							
4	木							
5	金							
6	土							
7	日	下弦						
8	月							
9	火							
10	水							
11	木							
12	金							
13	土							
14	日							
15	月	朔						
16	火							
17	水							
18	木							
19	金							
20	土							
21	日	上弦						
22	月							
23	火							
24	水							
25	木							
26	金							
27	土							
28	日	朔						
29	月							
30	火							
31	水							

1991年7月

日	曜	卦	来	所	者	内容
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金	● 下弦				
6	土					田中
7	月	○				
8	火					
9	水					
10	木					
11	金					
12	土	● 新月				
13	月	○				
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土	● 上弦				
19	月	○				
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	月	○ 朔				
26	火					
27	水					
28	木					
29	金					
30	土					
31	月					

1991年6月

日	曜	卦	来	所	者	内容
1	土					
2	月	○				
3	火					
4	水					
5	木					
6	金	● 下弦				
7	土					
8	月	○				田中
9	火					
10	水					
11	木					
12	金	● 新月				
13	土					
14	月	○				
15	火					
16	水					
17	木					
18	金					
19	土	● 上弦				
20	月	○				
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	月	○ 朔				
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					
31	土					

1991年9月

日	曜	階	位	来所者	内容
1	日			田中	
2	月	下弦			
3	火				
4	水				
5	木				
6	金		利	田中	
7	土				
8	日	朔			
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金				
14	土		利	田中	
15	日	上弦	利	田中	
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日				
23	月				
24	火	朔			
25	水				
26	木				
27	金				
28	土				
29	日				
30	月				

1991年8月

日	曜	階	位	来所者	内容
1	木				
2	金				
3	土	下弦			
4	日				
5	月				
6	火				
7	水				
8	木				
9	金		朔		
10	土				
11	日				
12	月			市村	
13	火				
14	水				
15	木				
16	金				
17	土	上弦			
18	日				
19	月				
20	火				
21	水				
22	木				
23	金				
24	土				
25	日	朔			
26	月				
27	火				
28	水				
29	木				
30	金				
31	土				

1991年11月

日	曜	卦	来	所	者	内容
1	金					
2	土					
3	☉					
4	☾					
5	火					
6	水	●新				
7	木					
8	金					
9	土					
10	☉					
11	月					
12	火					
13	水					
14	木	●上弦	快晴			
15	金		"			
16	土		"			
17	☉	●利				
18	月					
19	火					
20	水					
21	木					
22	金	●新	晴			
23	☉					
24	☾					
25	月					
26	火					
27	水					
28	木					
29	金	●下弦	●利			
30	土					

1991年10月

日	曜	卦	来	所	者	内容
1	火	●下弦				
2	水					
3	木					
4	金					
5	土					
6	☉					
7	月					
8	火	●新				
9	水					
10	☾					
11	金					
12	土					
13	☉		快晴			
14	月					
15	火					
16	水	●上弦				
17	木					
18	金					
19	土					
20	☉					
21	月					
22	火					
23	水	●満				
24	木					
25	金					
26	土					
27	☉					
28	月					
29	火					
30	水	●下弦				
31						

1991年12月

日	月	日	天	来	所	者	内容
1	(日)		快晴	0	田中		トコ出(撮影)
2	月						
3	火						
4	水		刈	9	田中		
5	木						
6	金	●新					
7	土						
8	(日)						
9	月						
10	火						
11	水						
12	木						
13	金						
14	土	●上弦					
15	(日)						
16	月						
17	火						
18	水						
19	木						
20	金						
21	土	○満					
22	(日)						
23	(日)						
24	火						
25	水						
26	木						
27	金						
28	土	●下弦					
29	(日)						
30	月						
31	火						

Campus



4 901480 070261

J-5A MADE IN JAPAN

KY 6号 179×252

中紙：白上質紙75g/m²
中性紙